

幼児の言語発達に関する研究（1）

—言語活動における母親の役割（Ⅱ）—

研究第5部 望月 武子

丸尾 あき子

I 研究目的

発達初期の学習の重要性がいろいろの領域で強調されている。とくに、対人関係の成立、社会的行動の発達は初期の学習によってその基礎が作られるので、この時期の刺激の多少や、環境条件の適否は、発達を左右し、永続的な影響を及ぼすという。

言語発達の領域でも、0～1才時期における日常生活での母親の子どもへの接し方や話しかけの重要性が強調されている。すなわち、普通、母親ならばごく自然に行なっている授乳や子どもへの世話、愛撫、話しかけなどの育児行動を通して、子どものコミュニケーション欲求をひき起こし、また、子どもの身近かにいて絶えず言語見本を提供することによって子どもの発声や発語を促すとともに、子どもの未熟な言語活動を、より発達した正しい段階へ引きあげるなどの役割を果たしているといわれる。

このことは、すでに発表した幼児の言語発達に関する研究（日本総合愛育研究所紀要第5集）の母子の遊び場面の録音の中でもみることができた。また、同第11集の正常な言語発達を示す子どもと言語発達遅滞児に対する母親の態度の比較からも、言語発達遅滞を示す子どもに対する母親の態度は、1) 母子間の交流の機会が少なく、生活全般にわたり子どもへの働きかけが少ない。2) 子どもを赤ちゃん扱ひすることが多く、子どもに十分な活動の場を与えることが少ない。3) 子どもの発声、発語に対する応じ方に適切さを欠く場合がやや多いなど、正常発達を示す子どもに対する態度とはかなり対称的であり、母親の接し方と言語発達の関係を肯定することができる。

しかし、これらはある1時点における子どもの言語活動に対する母親の態度であって、その態度がその後の子

どもの言語発達に影響を及ぼしているか否かは必ずしも明らかではない。そこで、子どもの言語発達と母親の接し方との関係に視点をあわせて、子どもの発達状況とともに追跡調査して、母親のどのような働きかけが言語発達を促進させる要因となるか、子どもに与える言語刺激の多少や、応答性の高さが子どもの発達とどのような関係をもつのかを探ろうとした。

II 研究方法

1. 調査項目の設定

母親の子どもに対する態度は、母親自身のパーソナリティや、母親がどのような発達観、児童観をもっているかということなどが大きく影響する。しかし、一般的には子どもへの愛情が強く、接触時間が充分にあり、子どもの発達や行動に対する理解と関心が深く、子どもの要求によく応答してやることができる母親であり、言語発達について周囲からの働きかけの重要性を認識している場合には、子どもに対し最も適切な刺激や反応を与え発達のために好ましい環境を整えることが可能であろうと考えられる。

このような観点に基づき、日常生活で母子間にどのような相互交渉がなされているかを知るため 1) 乳児前期（喃語の発生する0:3～0:4） 2) 乳児後期（人みしりや模倣行動が表われる0:7～0:9） 3) 有意味語発生期（1:3～1:7）の3時点での調査項目を用意した。

一方、在来の発達テストや文献から言語発達に関係ある子どもの行動を拾いあげ、発達を追って配列して、子どもの発達をとらえるスケールにした。調査票は別紙の通りである。

2. 調査対象

愛育病院保健指導部へ指導をうけに来所するものの中

から、ランダムに該当年齢児を選び調査対象とした。そして、指導の待時間を利用し、母親に1人ずつ面接して予め用意した調査項目に基づいて具体的場面での接し方を答えてもらった。

調査は、可能な限り同一の子どもを追跡するという方針で行ない、前記3時点での子どもの発達と、母親の接し方を調べた。

調査数は第1表の通りであり、3時点を継続調査できたものは60名である。

第1表 調査数

調査時点	0:3~4	0:7~9	1:3~7
調査数	128人	102人	81人
(継続調査数)		(81人)	(60人)

3. 資料の整理方法

(1) 言語発達の状況については、各個に得点を算出し、月齢別にその平均値を求め平均よりそれぞれ1標準偏差の限界を越えているものを発達の上位群・下位群に分類した。

このように区分した発達の上位群、中位群、下位群について、日常生活における母親の態度、接し方を比較してその傾向をみた。

(2) また、母親の育児行動を、母親から子どもへの刺激と、子どもの行動に対する応答の二つの側面からとらえ、これを点数化して子どもの発達状況との関連をみた。

母親からの刺激と考えた事項は、授乳やおむつの交換の時に赤ちゃんに呼びかけたりあやしたりする、毎日相手をして遊んでやる時間をとっている、あやしたり話しかけてやることが多い、買物や散歩につれ出す、玩具を与える、母親の姿のみえる所に赤ちゃんを置いておく、子どもの興味をもちそうなものをみつけて話しかける、手伝いや家族へのことづけを頼む、お話や本を読んで聞かせる、歌をうたったりレコードをきかせる、挨拶のことばかけをする……など、母親の側から子どもに働きかける行動である。

応答と考えた事項は、子どもが泣いた時、相手を欲しがって要求する時、喃語している時、母親の仕事につきまとう時、あと追いつく時、子どもが何か云ってもわからない時、みぶりや発声で要求する時……などにとる母親の行動であり、子どもの行動に対する反応としての母親の行動である。

これらについて、刺激の機会や量の多少により、また、応答性の高さにより、それぞれ多い方、高い方に高得点を配し、2, 1, 0 の点数を与えて個々に得点を算出した。

この母親からの刺激、応答の得点と子どもの発達とを関係づけて検討した。

III 研究結果及び考察

1. 子どもの発達

言語発達に関係があると考えられる行動をとらえて、子どもの発達をみた。各月齢別の平均得点と標準偏差は第2表の通りである。これを基準にして、子どもの発達を上位、中位、下位の三群に区分した。各調査時点における各群の人数は第3表に示した。

第2表 子どもの発達

月 齢	調査数	平均得点	標準偏差
0:3	78	9.0	1.49
0:4	50	10.5	1.71
0:7	37	15.3	2.00
0:8	29	18.5	2.98
0:9	36	19.6	2.52
1:3~4	47	32.3	4.83
1:5~6	22	36.2	4.68
1:7~	12	42.9	5.64

第3表

調査時点	上位群	中位群	下位群
0:3~4	15人	81人	32人
0:7~9	21	62	19
1:3~7	14	52	15

2. 発達上位群と下位群における母親の行動の比較

第4表-1は、0:3~0:4時点における発達上位群と下位群の母親の行動を比較し、違いの目立つ項目をとあげたものである。

発達の上位群では、授乳の前後やおむつをとりかえる時赤ちゃんに呼びかけたりあやしたりする。喃語している時にその声をまねたり話しかけてやる。童謡をうたったりレコードをきかせる。相手をしたり話しかける。などの行動が多く、仕事に赤ちゃんが声を出して呼ぶ時

はすぐ行って相手をするものが多くなっている。

また、ことばの発達については話しかけの重要性を認識しているものが多く、時間がある限り赤ちゃんの傍で相手をしたと思っており、絶えず赤ちゃんに気を配っているなど子どもへの関心が強い母親が多い。

一方、1人でおかれた時、相手を欲しがって声を出したり、泣いたりすることが少ない赤ちゃんが下位群に多いが、母親の行動と表裏の関係をなすものであろう。

第4表-1 0:3~0:4時点における発達上位群と下位群の母親の行動の比較

8 授乳の前後やおむつをとりにかえる時、赤ちゃんに呼びかけたりあやしたりしますか

発 達 行 動	上 位 群		下 位 群	
	人	%	人	%
よくする	14	93.3	21	65.6
ふつう	1	6.7	10	31.3
あまりしない	0		1	3.1

9 赤ちゃんが喃語している時、その声をまねしたり、話しかけてやりますか

よくする	14	93.3	24	75.0
ふつう	1	6.7	8	25.0

11 童謡をうたったり、オルゴール、レコードなどを聞かせることが多いですか

多 い	10	66.7	13	40.6
ふつう	5	33.3	11	34.4
あまりしない	0		8	25.0

12 赤ちゃんの相手をしたり、話しかけたりするのは他の人に比べて多いと思いますか

多 い	6	40.0	5	15.6
ふつう	6	40.0	22	68.8
少 ない	3	20.0	5	15.6

17 一人でおいておかれた時、相手を欲しがって声を出して呼んだり泣いたりすることが多いですか

多 い	4	26.7	9	28.1
ふつう	10	66.7	13	40.6
少 ない	1	6.7	10	31.3

18 仕事に赤ちゃんが声を出して呼ぶ時は、どうすることが多いですか

すぐ行って相手をする	8	53.3	11	34.4
時々相手をする	5	33.3	13	40.6
仕事がすむまで放っておく	2	13.3	8	25.0

21 ことばというものは特に話しかけてやらなくても時間がくれば自然に出てくるものだと思いますか

は い	2	13.3	7	21.9
い い え	13	86.7	21	65.6
考えたことがない	0		4	12.5

23 時間がある限り、赤ちゃんの傍にいて相手をしたいと思いますか

いつもそう思っている	13	86.7	16	50.0
時々はそう思う	0		4	12.5
時間があれば他の事をしたい	1	6.7	10	31.3
そ の 他	1	6.7	2	6.3

24 赤ちゃんが眠っている時やよく遊んでいる時でも絶えず気を配っていないと心配ですか

は い (いつも)	9	60.0	10	31.3
時々は	3	20.0	12	37.5
い い え	3	20.0	10	31.3

第4表-2は、0:7~0:9時点における発達上位群と下位群の母親の行動を比較し、傾向のみられる項目をとりあげたものである。前時点の調査と同様に発達の上位群に、子どもへの働きかけ、応答が豊かである傾向がみられている。「子どもが泣いた時はどうすることが多いですか」の項目については、下位群の方は、「すぐ行って声をかける」が多いのに対し上位群では、声をかける、抱く、いきかせる、に分散しているのがやや違った傾向である。また、「現在子どものことで気がかりなこと、問題になっていることがありますか」の質問に対し、下位群の方にあると答えたものが多い。その内容は、頭がいびつ、食事量が少ないが各2名ある他、体重が少ない、夜泣き、太りすぎ、立たせても足をつっぱらない、斜頸、血管腫など多岐にわたっている。

第4表-2 0:7~0:9時点における発達上位群と下位群の母親の行動の比較

12 子どもが泣いた時は、どうすることが多いですか

発 達 行 動	上 位 群		下 位 群	
	人	%	人	%
すぐ行って声をかける	8	38.1	12	63.2
抱 く	8	38.1	7	36.8
いきかせる	5	23.8	2	10.5
放っておく	1	4.8	1	5.3
不 明	2	9.5		

14 子どもの傍を離れようとしてあとを追われたらどうしますか

応じる	17	81.0	10	52.6
無視する	4	19.0	8	42.1
あとおいしない	0		1	5.3

16 何か要求して声を出したり指さしたりする時はどうしますか

ことばで答えながら応じる	20	95.2	14	73.9
黙って応じる	1	4.8	1	5.3
放っておく				
不明及び経験なし			4	21.1

17 子どものことばをまねてやることは

多 い	14	66.7	10	52.6
ふ つ う	7	33.3	5	26.3
少 ない	0		3	15.8
不 明			1	5.3

18 意味のない発声を、マンマ、ブーブのように意味づけて品物を示したり、くり返しきかせることは

よくする	14	66.7	4	21.1
時 々	5	23.8	8	42.1
し ない	2	9.5	6	31.6
不 明			1	5.3

20 母親から誘いかけて遊んでやることは

多 い	5	23.8	4	21.1
ふ つ う	15	71.4	11	57.9
少 ない	1	4.8	4	21.1

27 歌をうたったり、レコードをきかせてやることは

多 い	10	47.6	6	31.6
時 々	11	52.4	9	47.4
少 ない			4	21.1

31 子どものすることを賞めたり喜んでやることは

多 い	12	57.1	6	31.6
ふ つ う	9	42.9	8	42.1
少 ない	0		4	21.1
不 明			1	5.3

33 家族以外の人々と接する機会は

多 い	12	57.1	8	42.1
ふ つ う	5	23.8	8	42.1
少 ない	4	19.0	3	15.8

34 現在、子どものことで気がかりなこと、問題になっていることがありますか

な し	15	71.4	8	42.1
あ り	6	28.6	11	57.9

第4表-3は、同様に1:3~1:7時点での発達上位群と下位群の母親の行動を比較したものである。発達上位群では、前の2時点の調査と同様に子どもへの刺激応答が豊かであることがわかる。

このように、3時点の調査を通じて、発達上位群の母親の行動には、共通した傾向がみられているが、子どもへの刺激応答が豊富であるから、子どもの発達を促進しているのか、あるいは、子どもの発達がよく、行動が活発なので、母親からの働きかけが豊かになってくるのか、いずれの要因が優先しているのか、あるいは、全く相互的なものなのか、その因果関係ははっきりしない。

第4表-3 1:3~1:7時点における発達上位群と下位群の母親の行動の比較

1 現在、お子さんのことばの発達についてどう感じていますか

行 動	発 達		上 位 群		下 位 群	
	人	%	人	%	人	%
発達が早い	7	50.0				
ふ つ う	7	50.0	8	53.3		
遅れている			7	46.7		

6 外出した時、子どもが興味をもちそうなものをみつけて話しかけたり問いかけたりすることが多いですか

多 い	11	78.6	8	53.3
ふ つ う	3	21.4	6	40.0
少 ない			1	6.7

7 家庭内で家族への簡単なことづけやお手伝いを頼むことが多いですか

多 い	8	57.1	2	13.3
ふ つ う	6	42.9	7	46.7
少 ない	0		6	40.0

望月他：言語活動における母親の役割(II)

8 お話を聞かせたり、本を読んでやるような相手をよくしますか

すすんでする	4	28.6	2	13.3
子どもの要求があればする	9	64.3	4	26.7
少ない	1	7.1	9	60.0

10 朝晩の挨拶、外出帰宅の挨拶など子どもにも声をかけてやる事が多いですか

多い	14	100.0	9	60.0
ふつう			5	33.3
少ない			1	6.7

11 子どものやっていることをやめさせたい時、なかなかやめない時はどうしますか

いいきかせる	5	35.7	2	13.3
叱る、罰を与える	9	64.3	11	73.3
放っておく			2	13.3

13 子どもが何か云ってもよくわからない時にはどうすることが多いですか

よく聞いてわかってやるようつとめる	9	64.3	6	40.0
あれこれ察してやってやる	5	35.7	9	60.0

15 不完全なことばや、ことばの一部だけを云うような時はどうしますか

理解し正しいことばで答える	13	92.9	11	73.3
そんないい方ではわからないという			1	6.7
注意していい直しさせる			1	6.7
不明	1	7.1	2	13.3

16 子どものことばをまねて幼児音を使いますか

使う			1	6.7
時々使う	7	50.0	3	20.0
正しい発音で話す	7	50.0	11	73.3

19 子どもが人に何か聞かれてもうまく答えられない時はどうすることが多いですか

代って言う	9	64.3	5	33.3
ちゃんと云いなさいと注意する			1	6.7
黙って見守る	3	21.4	5	33.3
不明	2	14.3	4	26.7

24 子どもが話しかけたり何か尋ねても忙しいからあとでなど云って相手をしない事が多いですか

ふつう			7	46.7
少ない	14	100.0	7	46.7
不明			1	6.7

27 子どものすることが危なっかしくて、心配で世話をやいたり手助けすることが多いですか

多い			2	13.3
ふつう	7	50.0	4	26.7
少ない	7	50.0	9	60.0

28 赤ちゃん扱いすることが多いですか

多い			4	26.7
ふつう	3	21.4	4	26.7
少ない	11	78.6	7	46.7

29 子どもの世話をわずらわしいと思うことがありますか

思うことがある	5	35.7	10	66.7
思わない	9	64.3	5	33.3

31 友だち遊びをよくさせますか

よくさせる	5	35.7	3	20.0
ふつう	6	42.9	5	33.3
少ない、ない	3	21.4	7	46.7

32 子どもがつきまといたがる時はどうすることが多いですか

都合をつけて相手をする	11	78.6	6	40.0
時には相手をする	3	21.4	8	53.3
叱る、相手をしない			1	6.7

3. 母親の行動

母親の育児行動を刺激(母親から子どもへの働きかけ)と、応答(子どもの行動に対する反応)の2側面からとらえ、これに点数化を試みた結果が第5表である。

第5表 子どもに対する母親の行動

調査時点	調査数	刺激		応答		
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
I 3~4ヵ月	128	9.95	2.52	6.89	1.69	
II 7~9ヵ月	102	14.31	2.94	11.57	2.47	
III	1:3 ~ 1:4	47	15.51	3.68	16.28	2.29
	1:5 ~ 1:6	22	16.59	2.82	17.27	1.94
	1:7 ~	12	16.67	2.69	17.33	1.37

各月齢別に得点の平均値を求めて検討したが、3~4か月時点と7~9か月時点では月齢による差が認められなかったが、1才3か月~1才7か月時点では子どもの月齢によって、多少の差が生じていた。すなわち、発達にしたがって、母親からの刺激・応答が多くなる傾向がみられている。

4 母親の行動とその要因

1) 子どもの発達と母親の行動

各調査時点における子どもの発達と母親の接し方との関係をみたものが第6表-1~3である。表中の※印は5%危険率で有意差のある事項を表わしている。

第6表-1 0:3~0:4時点における子どもの発達と母親の行動

子どもの発達	母親の行動		刺激		応答	
	刺激	応答	刺激	応答	刺激	応答
上位群 N=14	※	※	10.86	8.14	2.12	1.42
中位群 N=82			10.06	6.72	2.60	1.63
下位群 N=32			9.25	6.78	2.37	1.73

0:3~0:4時点では、発達の上位群に刺激応答の得点が高く、下位群では得点が低くなっており、いずれも5%の危険率で有意差が認められた。

なお、出産時に異常があったか、産声をあげたか、哺乳力かどうか、泣き方かどうか、活動性かどうかなど、子ども側の問題や傾向を参考にみたが、発達下位群にこれらの問題や哺乳力、泣き声、活動性が弱いものがやや多い傾向がみられているが差はなかった。

第6表-2 0:7~0:9時点における子どもの発達と母親の行動

子どもの発達	母親の行動		刺激		応答	
	刺激	応答	刺激	応答	刺激	応答
上位群 N=21	※		15.33	12.24	2.77	2.35
中位群 N=62			14.29	11.42	2.83	2.31
下位群 N=19			13.21	11.32	2.95	2.97

0:7~0:9時点での母親の行動をみると、発達が上位になるにしたがって、母親からの刺激・応答の得点が高くなる傾向がみられており、発達上位群と下位群間の刺激の得点に有意差が認められる。

第6表-3 1:3~1:7時点における子どもの発達と母親の行動

子どもの発達	母親の行動		刺激		応答	
	刺激	応答	刺激	応答	刺激	応答
上位群 N=14	※	※	17.50	18.36	2.23	1.50
中位群 N=52			16.32	16.44	3.57	2.18
下位群 N=15			13.33	16.07	3.11	1.73

1:3~1:7時点での刺激の得点は、上位群と下位群間及び中位群と下位群間に有意差が認められ、応答の得点でも上位群と下位群間及び上位群と中位群間に有意差が認められた。この時点では、発達が上位になるに従って母親からの刺激応答が豊かであることが顕著に表われて来ている。

2) 出生順位と母親の行動

母親の育児行動は、子どもの出生順位によって差が生じるのではないかと考え、出生順位との関連をみたのが第7表-1~3である。

第7表-1 0:3~0:4時点における母親の行動と出生順位

出生順位	母親の行動		刺激		応答	
	刺激	応答	刺激	応答	刺激	応答
第一子 N=71	※		10.35	6.99	2.38	1.76
他 N=57			9.47	6.68	2.61	1.71

第7表-2 0:7~0:9時点における母親の行動と出生順位

出生順位	母親の行動		刺激		応答	
	刺激	応答	刺激	応答	刺激	応答
第一子 N=61			14.54	11.85	2.87	2.26
他 N=41			13.71	11.14	3.02	2.72

第7表-3 1:3~1:7時点における母親の行動と出生順位

出生順位	母親の行動		刺激		応答	
	刺激	応答	刺激	応答	刺激	応答
第一子 N=48			16.23	16.73	3.42	2.13
他 N=33			15.61	16.67	3.28	2.16

各時点を通じて、第一子の方に母親からの働きかけが多い傾向がみられるが、有意差がみられたのは0:3~0:4時点のみである。

また、子どもの行動に対する応答的な働きかけはいずれも差がなかった。

3) 性別と母親の行動

子どもの性別と母親の行動との関係を見たものが第8表-1~3である。

第8表-1 0:3~0:4時点における母親の行動と性別

性別	母親の行動		刺 激		応 答	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
男 N=57	※ 10.49	2.39	6.93	1.85		
女 N=71	9.52	2.58	6.78	1.65		

第8表-2 0:7~0:9時点における母親の行動と性別

性別	母親の行動		刺 激		応 答	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
男 N=48	14.31	2.89	11.35	2.70		
女 N=54	14.31	2.94	11.76	2.25		

第8表-3 1:3~1:7時点における母親の行動と性別

性別	母親の行動		刺 激		応 答	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
男 N=33	※ 14.58	3.45	16.49	2.25		
女 N=48	16.60	3.15	16.88	2.06		

これをみると、0:3~0:4時点では母親からの刺激は男子の方へ多くなっており、女子へは少なく有意差がみられる。0:7~0:9時点ではその差は全くなり、1:3~1:7時点では逆に女子への働きかけが多く、男子へは少なくなっており差が認められている。この現象の意味は明らかではないが、母親からの働きかけの多少は、その働きかけによって起こされる子どもの行動傾向と関係しているのではないかと考えられる。

応答の得点は各時点を通じて性別による差がみられなかった。

4) 継続追跡例による各時点間の母親の行動

母親の子どもへの働きかけの多少は、母親自身の傾向によるのではないかと考え、子どもへの働きかけが豊かな母親はどの時点でも子どもへの働きかけは豊かであり、働きかけの少ない母親はどの時点でも少ないという傾向があるのではないかと考え、3時点を継続的に追跡できたケースによりこの関係をみようとしたものが第9表-1~2である。

第9表-1 0:3~4時点の親の行動とその後2時点の親の行動

0:3~4時点の親の行動	0:7~9時点の親の行動		1:3~1:7時点の親の行動	
	刺 激	応 答	刺 激	応 答
上	※ 15.64	※ 12.47	17.12	17.12
中	14.20	11.85	16.09	16.69
下	12.83	10.50	13.64	15.73

第9表-2 0:7~9時点の親の行動と1:3~7時点の親の行動

0:7~9時点の親の行動	1:3~7時点の親の行動	
	刺 激	応 答
上	※ 17.59	※ 17.88
中	15.90	16.19
下	13.67	16.00

縦軸にとったのは、それぞれ前の調査時点での親の行動の得点を平均値と標準偏差を基準にして上、中、下に分類したものである。この上、中、下の各群について、その後の調査時点での母親の行動を得点で示してある。

第9表-1~2を通してみられるように、0:3~0:4時点で子どもへの刺激応答の得点が上位のものは、その後の時点での得点も高く、得点の下位のものはその後の得点も低くなっており、明らかな傾向が表われている。これにより、母親の子どもにも与える刺激応答の多少は、母親自身のもつ傾向によってかなり規定されていることが推定される。

5) 前時点の母親の行動と次時点の子どもの発達

母親からの豊かな働きかけが、次の段階における子どもの発達をひきあげるものかどうか。この点を探ろうとしたものが第10表-1~2である。ここでは、3時点の

調査資料を時点をずらして組みあわせ、ある時点の子どもの発達のレベルとその前の時点での母親の行動の得点との関係を検討した。

表にみられるように、ある時点で子どもの発達が上位を示した群の方が、その前の時点では母親からの刺激が多かったとみられるような傾向が極めて僅かながら表われている。しかし、いずれも有意差は認められない。また、応答の得点は各群間に一定の傾向をみることができなかった。

第10表-1

0:7~9時点の子どもの発達レベルと0:3~4時点の親の行動

0:7~9時点の 子どもの発達	0:3~4時点の親の行動	
	刺 激	応 答
上 位 N-21	10.81	7.38
中 位 N-48	9.92	6.81
下 位 N-12	9.50	7.58

第10表-2

1:3~7時点の子どもの発達レベルと0:7~9時点の親の行動

1:3~7時点の 子どもの発達	0:7~9時点の親の行動	
	刺 激	応 答
上 位 N=12	15.17	11.83
中 位 N=35	13.91	12.03
下 位 N=13	13.85	11.31

IV 要 約

正常発達を示している子どもについて、乳児前期(0:3~0:4)乳児後期(0:7~0:9)有意味語発生期(1:3~1:7)の3時点を選定し、子どもの発達と母親の子どもへの接し方との関連を追跡的に調査した。

各時点を通じて、子どもの発達上位群の母親は、子どもへの働きかけが多い傾向が認められている。

発達上位群の母親に多い行動は、

- 呼びかけたりあやしたりすることが多い。
- 喃語をまねたり、喃語に応じて話しかけてやる。

- 歌をうたったりレコードを開かせる。
- 相手をほしがるときはすぐ行って応じる。
- 傍を離れようとしてあとおいされた時は応じてやる。
- 喃語をことばとして受けとめ、くり返しきかせる。
- 親から誘いかけて遊んでやる。
- 子どものすることを賞めたり励ましたりすることが多い。
- 子どもが興味をもちそうなものを見つけて話しかけたり聞かせたりする。
- お話を聞かせたり本を読んでやる。
- 子どもの云うことをよく聞いてわかってやるように努める。
- 家庭内で簡単なことづけや手伝いを頼む。
- 子どもからの話しかけに応じてやる。
- 時間のある限り子どもの傍で相手をしたいと思っている。
- 子どもの世話をわずらわしいと思わない。

などがあり、発達下位群ではこれらの行動が少ない。

母親の行動を、母親からの刺激と応答の2側面からとらえ点数化し、これと他の要因との関係を調べた結果は、

1. 子どもの発達が上位になるに従って、母親からの刺激・応答の得点が高くなる傾向を示しており、子どもの発達と母親の接し方には強い関係があるといえる。
2. 子どもの出生順位と母親の行動との関係は、二、三子に比べ第一子の方に働きかけが多い傾向がみられる。この傾向は乳児前期に目だつたが、以後その差はなくなっている。
3. 母親の行動は、乳児前期では女子に比し男子の方へ働きかけが多いが、後期ではその差はなくなり、有意味語発生期では逆に女子の方へ働きかけが多くなっていた。これは性別による接し方の違いというよりも、その時点における子どもの行動・反応傾向の違いから生ずるものではなからうかと考えられる。

4. 3時点を通じて継続的に追跡調査できた事例について、母親の接し方を各時点ごとに検討すると乳児前期で刺激・応答の得点の高いものはその後の時点でも得点が高く、低いものはその後の得点も低いという明らかな傾向がみられ、母親の子どもへの接し方は母親自身の傾向によって規定されるところが大きいと考えられる。

5. 3時点の調査を通して、ある時点の子どもの発達とその前の段階での母親の接し方との関係をみたが、明らかな傾向はみられなかった。

望月他：言語活動における母親の役割（Ⅱ）

調 査 票 I

No. _____

氏名	男・女	昭和	年	月	日生（	歳	月）	記入	年	月	日
1) 出産時に異常はありませんか。					なし		有り（				
2) 生れた時すぐ産声をあげましたか。					元気に泣いた		泣き声が弱かった				仮死で生れた
3) 乳の吸いつきや飲みこみがうまくいかない ことがありましたか。					吸いつけなかった		じょうずに飲めな かった				よく吐いた、鼻から 出すことがあった
4) 授乳方法は。											
イ) 時間で規則的に与えますか。					規則的		大体時間をきめて				子どもの欲しがる時 に
ロ) 赤ちゃんの飲み方は。					よく飲む		ふつう				飲み方が弱い 飲む量が少ない
ハ) 1回の授乳に要する時間は。					短い方		ふつう				時間がかかる
ニ) 栄養は。					母乳		混合				人工
5) おとなしい赤ちゃんですか。					活発		ふつう				おとなしい
6) ほかの赤ちゃんに比べて手がかかるように 感じますか。					手がかかる		ふつう				手がかからない
○どんな点で手がかかりますか。					()
7) 泣き方は。											
イ) 大きな声で激しく泣きますか。					激しく泣く		ふつう				泣き声が弱い
ロ) 泣くことが多いですか。					よく泣く		ふつう				あまり泣かない
ハ) 泣いた時はどうすることが多いですか。					すぐ抱いてあげる		声をかけたりあやし たりする				何もしないで泣きや むまでまつ
ニ) 上のようにするのはどうしてですか。					()
8) 授乳の前後やおむつをとりかえる時赤 ちゃんに呼びかけたりあやしたりしますか。					よくする		ふつう				あまりしない
9) 赤ちゃんがお話をしている時、その声をま ねてあげたり、話しかけてあげますか。					よくする		ふつう				あまりしない
10) 毎日いっしょに遊んであげる時間をとって いますか。					時間をとっている		特に時間をとらない				あまり遊び相手をし ない
11) 童謡をうたったり、オルゴール、レコード などを聞かせることが多いですか。					多い		ふつう				あまりしない
12) 赤ちゃんの相手をしたり話しかけたりする のは他の人に比べて多いと思いますか。					多い		ふつう				少ない
13) 8~12のように赤ちゃんに接しているのは 何か理由がありますか。					()
14) 赤ちゃんをよく接するのは誰々ですか。					(母, 父, 祖母, 祖父, 兄, 姉, その他))
15) 赤ちゃんは誰に一番なついていますか。					()
16) ひとり遊びよりも相手をして遊んでもら うのを喜びますか。					相手をしてもら うのを喜び						一人遊びが好き
17) ひとりでしておかれた時、相手をほしが って声を出して呼んだり、泣いたりするこ とが多いですか。					多い		ふつう				少ない
18) 仕事中に赤ちゃんが声を出して呼ぶ時、ど うすることが多いですか。					できるだけすぐ行っ て相手をする		時々は相手をする				仕事やすむまで放っ ておく
19) 赤ちゃんはまだことばかわからないでしょ うが、「いらっしゃい」、「きれいにしまし ようね」……などことばをかけながら世話 をすることが多いですか。					多い		ふつう				少ない
20) 赤ちゃんの意味のないマンマンマ、プー ーなどの音をマンマ（食物）、プー（乗物水） のように意味づけて、くり返し話してあげ ますか。					よくしている		時々				あまりしない

- | | | | |
|---|------------|-----------|---------------|
| 21) ことばというものは、特に話しかけてあげなくても、時期がくれば自然に出てくるものだと思いますか。 | はい | いいえ | 考えたことがない |
| 22) ママ、プープなど、ことばを云い始めてから教えていけば良いと思いますか。 | はい | いいえ | 考えたことがない |
| 23) 時間がある限り赤ちゃんの傍にいて相手をしたしたいと思いますか。 | いつもそう思っている | 時々はそう思う | 時間があれば他の事をしたい |
| 24) 赤ちゃんが眠っている時やよく遊んでいる時でも絶えず気を配っていないと心配ですか。 | はい(いつも) | はい(時々は) | いいえ |
| 25) 食事、入浴、睡眠など規則正しくしていますか。 | 規則的 | おおよそ決めている | その時によりかなり不規則 |
| 26) 「危ない」「きたない」などと赤ちゃんのやることを制限したり禁止したりすることが多いですか。 | 多. 多い | ふつう | あまりしない |
| 27) 赤ちゃんの世話をわすらわしいと思うことが多いですか。 | かなり多い | 時々は | 思わない |
| 28) 育て方が悪いのではないかと心配になることが多いですか。 | かなり多い | 時々は | 心配したことがない |

回答者続柄 () 記入者 ()

調 査 票 II

氏名	男・女	昭和	年	月	日生	月齡	月	日
1) 出産時に異常はありませんか。	なし	あり()						
2) すぐ産声をあげましたか。	元気にないた	泣き声が弱い				仮死		
3) 乳の吸いつき、飲みこみがうまくいかないことがありましたか。	なし	吸いつけない 鼻から出す				じょうずにのみこめない 吐く		
4) 活発な赤ちゃんですか。	活発	ふつう				おとなしい		
5) 手がかかる赤ちゃんですか。	手がかかる	ふつう				手がかからない		
6) 大きな声で激しく泣きますか。	激しくなく	ふつう				泣き声が弱い		
7) 泣くことが多いですか。	よく泣く	ふつう				あまり泣かない		
8) 食事・おやつは規則的ですか。	規則的	大体時間をきめて				ほしがる時に かなり不規則		
9) 時間でないのに食物をほしがる時は。	与える	時によって				与えない		
10) 子どもの食事は。	特に子ども用に 母が調理する	缶詰などを多用する				大人のをわけ 特に調理しない		
11) 食事に要する時間は。	さっさと与え手早くすませる どうして()	かなり時間をかける						
12) 子どもが泣いた時はどうすることが多いですか。	すぐ行って声をかける 抱く。いいきかす	放っておく						
13) 相手をしてもらいたがって要求する時は。	応じる()) 無視						
14) 子どもの傍を離れようとしてあとを追われたら。	応じる()) 無視						

望月他：言語活動における母親の役割（Ⅱ）

- | | | | |
|--|--------------|-----------------|------------|
| 15) 仕事中に傍に来たがったりつきまとう時は。 | 応じる（ | ）無視 | |
| 16) 何か要求してアーアー声を出したり指さしたりする時。 | ことばで答えながら応じる | 黙って応じる | 放っておく |
| 17) 子どものことばをまねしてあげることは | 多い | ふつう | 少ない |
| 18) 意味のない発声を、マンマ、ブーブのように意味づけて品物を示したり、くり返してきかせることは。 | よくする | 時々 | しない |
| 19) マンマ、バイバイなど云ってごらん、と働きかけることは。 | 多い | ふつう | 少ない
しない |
| 20) お母さんから誘いかけて遊んであげることは。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 21) 遊んであげる時に、お母さんの方から話しかけてあげることは。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 22) 散歩、買物など外につれだしてあげることは。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 23) 玩具の種類や数は。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 24) 玩具で遊ばせる時おとなが相手をするのは。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 25) お母さんの姿の見える所に赤ちゃんをおいておくことは | 多い | ふつう | 少ない |
| 26) テレビをどのくらい利用して（みせて）いるか。 | つけっ放し | 時々 | みせない |
| 27) 歌をうたったり、レコードをかけてあげることは | 多い | 時々 | 少ない |
| 28) 赤ちゃんをおいてでかけることは。 | 多い | 時々 | ない |
| 29) 子どもは一人で置いておく方が望ましいと考えているか。 | できるだけ一人でおきたい | きまった保育以外は接触をさける | できるだけ接触したい |
| 30) 子どものすることに制限・禁止が多いか | 多い | ふつう | 少ない |
| | どうして（ | | |
| 31) 子どものすることを賞めたり喜んであげることは。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 32) 今、こどもの世話に参加しているのは。 | (母、 | 父、 | 祖母、 |
| | 祖父) | | |
| 33) 家族以外の人と接触する機会は。 | 多い | ふつう | 少ない |
| 34) 現在、子どものことで気がかりなこと、問題になっていることがあるか。 | なし | あり（ | ） |
| 35) ことばというものは特に話しかけてあげなくても、時期がくれば自然に出てくるものだと思いますか。 | はい | いいえ | 考えたことがない |
| 36) ママ、ブーブなどことばを言い始めてから教えていけば良いと思いますか。 | はい | いいえ | 考えたことがない |

記入年月日 昭和 年 月 日 回答者（

ことばの発達

氏名 _____ 男・女 _____ 記入年月日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 記入者名() _____
 生年月日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 報告者() _____
 年 令 _____ 才 _____ 月 _____

番号	+ -			年齢段階	項目
	理解	表出	その他		
1				0:1	大きな物音でびくっとすることがありますか
2				0:2	あやすと声を出したり、笑ったりしますか
3				"	遠くから声をかけると声のした方に首をまわして探しますか
4				"	アーア、ウーウーなど、おはなしをしますか、いつ頃から()
5				0:3	前にくらべておはなしはだんだんさかんになっていますか
6				"	近くで音をたてたり、声かするとおはなしや運動をちよつとやめてきていますか
7				"	あやすと声をたてゝ笑うことが多いですか
8				"	お母さんの声をきゝわけますか、(他の人が声をかけても泣きやまぬか母親の声で泣きやむ)
9				0:4	ラジオ、レコードなどの音がきこえるとじっときいていますか
10				"	スプーンから飲むことができますか
11				0:6	お母さんと他の人を区別して入みしりをしますか
12				0:7	何かしてほしい時(遊んでもらいたい、玩具がとれない)声を出しておとなの注意をひきますか
13				"	笑顔や怒った顔をしてみせると表情を理解することができますか
14				"	音のでない玩具と比べてガラガラや鈴など音の出る玩具の方を呼びますか
15				"	おはなしにバーバー、ダ・ダー、マンマン、チャーチャーなど唇や舌を使った音がふえてきましたか
16				0:8	コップからじょうずに飲むことができますか
17				"	話しかけるとまねをしてそれに似た音をくり返すようなことがありますか
18				0:9	自分の名をよばれるとそちらの方をみますか(自分の名前がわかって他の名前とは違った反応をするか)
19				"	イヤイヤ、バイバイなどの動作をしますか
20				"	笛、ラッパがふけますか
21				0:10	「いけません、」というちよつと手をひっこめて云った人の顔をみますか
22				"	ミルクや食物をみるとマンマのようにことばらしい音をだしますか
23				"	「パパどこ?」「ママは?」ときくとその方をみますか、(簡単なことばがわかるか)
24				"	電話や玄関のベルが鳴ると母の方を見て知らせようとしますか
25				"	喉、舌うちなどの音をまねますか
26				1:0	意味のあることばがでてきますか、いつ頃から()
27				"	今、云えることばの数はおよそいくつぐらいですか
28				"	「ちようだい」というと手にもっているものをくれたり、いやいやをしますか
29				"	手をふりながら「バイバイ」といいますか
30				"	お母さんに向かって「ママ」とよびかけますか
31				1:3	絵本をみて、きかれたものを指さしたり、知っているものゝ名を云ったりしますか(4コぐらい)
32				"	簡単ないゝつけを理解して、それに従いますか(新聞もっていらっしゃい)
33				"	目、耳、口、などをきくとさすことができますか(2つ以上)
34				1:6	名前を呼ばれると「ハイ」と返事をしますか
35				"	20語ぐらいのことばがいきますか
36				"	本を読んでとせがみますか、読んであげるとよく聞いていますか
37				"	おとなの云うことばをまねて、くり返すことがありますか
38				"	自分のことを名前でいゝますか
39				1:9	簡単な質問にことばで答えられますか、パパは?→アッチ、カイヤ など
40				"	オンソコを教えますか(ことばで、動作で)
41				"	2つ以上のことばをつないで話せますか、いつ頃から()

ことばの発達

氏名 _____ 男・女 _____ 記入者名() _____
 生年月日 昭和 _____ 年 月 日 報告者() _____
 年 令 _____ 才 月 _____

番号	+ -			年齢段階	項目
	理解	表出	その他		
42				1:9	ストローで飲めますか
43				2:0	いく冊かの本の中から指定した本をもってることができますか
44				"	赤、青など2色以上の色がわかりますか
45				"	机の上、テーブルの下、ひきだしの中など位置が2つ以上わかりますか
46				"	絵本をみて10以上の物を正しく(云う/さす)ことができますか
47				"	目、鼻、耳、口、顎、手、足など身体の一部がわかりますか
48				"	何かに熱中している時でもよだれを出さなくなりましたか
49				"	「コレナーニ」ときゝたがる人が多いですか
50				"	友達の名前を覚えて云いますか()
51				2:6	名前をきくと姓名がいきますか
52				"	童謡を歌うことができますか(メロディーの一部、全部、歌詞の一部、全部)
53				"	……ガ、……ニ、……ノ、……トなど助詞を使って簡単な文を話せますか
54				"	絵本をみて身辺のものならばほとんどの物を正しく(云う/さす)ことができますか
55				"	歩いているのは? すわっているのは? ねているのは? など聞く動作がわかって指しますか
56				"	絵を見て「これは何しているの?」と聞くと「～シテル」と答えることができますか
57				"	オホヨウ、アリガトウ、サヨナラが云えますか
58				"	大きい、小さいということがわかりますか
59				"	のみこまないでブクブクができますか
60				"	シヤボン玉をじょうずに吹くことができますか
61				3:0	男の子、女の子がわかりますか a 自分の性別が云える b わかる
62				"	上、下、中、前、後などの位置関係が3つ以上わかりますか
63				"	自分の年齢がいきますか、動作で、ことばで
64				"	本を暗記してよみますか
65				"	絵をみて話をすることができますか(主語がある簡単な叙述)
66				4:0	野菜、果物、動物など抽象名詞がわかり、絵を指させますか
67				"	「2つ」「3つ」ということがわかりますか
68				"	友達といろいろ会話しながら遊びますか(電話ごっこ、まごごで会話ができますか)
69				"	自分の経験したことを他の人に話しますか
70				"	鼻をかむことができますか
71				"	発音は赤ちゃんのような話し方ですか
72				"	特に発音できない音がありますか、それは()音
73				5:0	a サイコロの数がよめますか b わかりますか(5を出してと云えば正しく出す)
74				"	a 基本的な色の名が云えますか b 10色くらい色の名がわかりますか
75				"	1円、5円、10円、100円などお金の名がわかりますか a 云える b わかる
76				"	自分の家の住所が正しく云えますか
77				"	「た」のつくことば「か」のつくことばなど云うといくつか云えますか
78				"	なぜなぜをしますか
79				5:6	しりとりをあそびができますか